

令和5年度 《学校経営計画》

名張市立桔梗が丘東小学校

学校長 松田 和隆

1 学校教育目標

「やる気・勇気・元気」の育成

2 めざす学校像、幼児・児童・生徒像、教職員像、保護者・地域像

○学校像	<ul style="list-style-type: none">・児童が「行きたい」「学びたい」と思える学校・保護者や地域が、「行かせたい」「学ばせたい」と思える学校・教職員が「働きたい」「自分を高めたい」と思える学校
○児童像	<ul style="list-style-type: none">・自ら学び、主体的に行動する「やる気」のある子・友だちとつながり合い、共に目標にチャレンジする「勇気」のある子・笑顔で、いきいき活動し、地域とつながる「元気」な子 <p><桔梗が丘中学校区におけるめざす児童・生徒像></p> <p>「仲間とともに主体的に学び、活動する子ども」</p>
○教職員像	<ul style="list-style-type: none">・子ども・保護者・地域に信頼される教職員・学びの接続を大事にし、小中一貫教育に取り組む教職員・働き方改革を意識し、総勤務時間の縮減に努める教職員
○保護者・地域像	<ul style="list-style-type: none">・互いにつながり合い、教育活動に積極的に参加する保護者・学校との相互理解をもとに、パートナーとして連携・協働する地域

3 学校の現状

本年度の改善方策

<p>1 子どもたちは、全体的に明るく素直でのびのびとし、与えられたことに対して一生懸命取り組む態度が見られる一方、生活や学習習慣の定着や主体性・コミュニケーション力等に課題が見られる。</p> <p>2 桔梗が丘中学校区における小中一貫教育のグランドデザイン、グループ別カリキュラムを策定し、義務教育9年間を見据えた取組を推進している。中学校区がめざす児童像の実現に向けて、学びの接続をさらに意識して取り組む必要がある。</p> <p>3 学校運営協議会が情報交換や意見の出し合いに終わってしまう傾向がある。</p> <p>4 学校の教育活動に対して、保護者や地域は協力的であり、「あそびつくす in 東小」や「子どもを守る連絡会」など、学校・家庭・地域が連携して取り組む組織体制が整っている。</p> <p>5 総勤務時間縮減に向けた更なる取組が必要である。</p>	<p>1 学力・コミュニケーション力の向上に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・基礎学力の定着。(少人数授業や教科担任制の実施、見通しのある授業展開、タブレットやAIドリルの活用)・ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり。・学習指導要領に基づく授業改善。・全国学力・学習状況調査やみえスタディチェックの結果分析を活用した学習活動推進。・読書活動のさらなる充実。・生活習慣や家庭学習の定着。・オアシスレンジャーなど、長年続けている活動とめざす児童像の結びつきを明確化。 <p>2 中学校区の小中学校教員が、グループ別研修会等でさらに結びつきを深める。</p> <p>3 学校運営協議会の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・テーマを焦点化した熟議。 <p>4 地域との連携・協働を進める。</p> <ul style="list-style-type: none">・「あそびつくす in 東小」の目的再確認と、目指す児童像にむけての協働。 <p>5 校務や行事の精選、定時退校日の定着。</p>
---	---

4 重点的な取組事項						
番号	内容	実施期間				
		2	3	4	5	6
1	互いに認め合える学級集団づくり・なかまづくり	○	○	○	○	
2	子どもたちが主体的に学べる授業づくり	○	○	○	○	
3	信頼される安全で安心な学校づくり	○	○	○	○	

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1	互いに認め合える学級集団づくり・なかまづくり
-------------------	------------------------

A 今年度の成果目標

学びの基盤としての協調的・親和的な雰囲気のある学級集団をめざす。
 【学校評価アンケート：「安心して自分の意見を言うことや友だちのよいところを見つけることができている」と回答する児童の割合 90%以上をめざす】

B 目標実現に向けた取組

具体的な方策

- | | |
|---|--|
| ① | よりよい人間関係を築くルールやスキルの定着を図るとともに、「話す・聞く」ことに焦点をあてた授業づくりなど、コミュニケーション力を高めるための取組を工夫する。 |
| ② | 学級の実態に応じたなかまづくりの取組を通して、お互いを認め合い、子どもどうしがつながる学級集団づくりをめざす。 |
| ③ | 児童の実態や課題（困り感）を全体で共有し、指導・支援・相談にあたる体制を構築する。 |

重点的な取組事項－2	子どもたちが主体的に学べる授業づくり
-------------------	--------------------

A 今年度の成果目標

すべての子どもたちが「わかる・できる」授業づくりを推進し、子どもたちが、自ら課題を見出し、主体的に学んでいこうとする力の育成をめざす。
 【学校評価アンケート：「授業の内容がわかる」と回答する児童の割合 95%をめざす】

B 目標実現に向けた取組

具体的な方策

- | | |
|---|---|
| ① | 学習指導要領に則り、ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりをめざすとともに、「少人数授業」「教科担任制」等により、基礎学力の定着を図る。 |
| ② | 課題設定や授業形態の工夫、タブレット等の活用により、子どもたちが主体的に、自ら課題を解決していこうとする力を育てる。 |
| ③ | 小中一貫教育を推進していくことで、桔梗が丘中学校区における系統性のある教育（国語、算数、体育を中心に）を実践していく。 |

重点的な取組事項－3	信頼される安全で安心な学校づくり
A 今年度の成果目標	
<p>学校運営協議会 合言葉「みんなでつくる みんなの桔梗が丘東小学校」を意識し、児童が「行きたい」「学びたい」保護者や地域が「行かせたい」「学ばせたい」と思えるような学校づくりをめざす。</p> <p>【学校評価アンケート：保護者からの学校への相談等に、丁寧に対応している教職員 90%以上をめざす】</p>	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	保護者や地域に日常の教育活動を情報発信し、学校での教育活動への理解の深化に努める。
②	「あそびっくす in 東小」など地域と協働しての取組を通して、めざす児童像の実現を図る。
③	「みんなでつくる みんなの桔梗が丘東小学校」を合言葉に、学校運営協議会の熟議等を通して、連携・協働を進めていく。

6 学校における働き方改革の推進に向けた取組

上限時間に基づく目標		
成果指標①	1人当たりの月平均時間外労働	30時間以下
	年360時間を超える時間外労働者数	0人
	月45時間を超える時間外労働者の延べ人数	0人
具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の平準化・適正化 ・教師一人当たりの業務量の見直し 	
休暇取得促進の目標		
成果指標②	1人当たりの年間休暇取得日数	23日以上
具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業期間中を利用し、まとめて休暇が取得できるように働きかける。 ・放課後に会議等がない日には、たとえ1時間でも年休を取れるような働きかけをする。 	
学校独自の取組		
活動指標	設定した日の定時に退校できた職員の割合	90%以上
	放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合	80%以上
具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日を定時退校日とする。 ・効率のよい会議運営（職員会議のペーパーレス化、協議内容の事前把握、提案の簡潔化、終了時刻の設定） ・グループ研究部会がない月には会議等を入れない週を設定する。 	